

令和 5 (2023) 年度 奥田元宋・小由女美術館 事業報告

令和 5 年度は、8 月 31 日（木）まで開館し、空調設備改修工事のため、9 月 1 日（金）より臨時休館した。

三次市の芸術・文化・教育の振興、並びに地域文化の発展を図ることを目指し、次の事業を行った。

【公益目的事業】

1 展示事業

空調設備改修工事による臨時休館のため、奥田元宋の「日本画」と奥田小由女の「人形」を展示する常設展を 2 回と企画展を 3 回開催した。

(1) 常設展の開催

	名 称	会 期（開館日数）	入館者数
1	令和 4 年度第 4 期常設展 「奥田元宋と奥田小由女の世界」	常設のみの期間 4 月 10 日（月）～4 月 18 日（火）（8 日間） 6 月 15 日（木）～6 月 20 日（火）（6 日間） 《展示期間》 4 月 1 日（土）～6 月 20 日（火）（71 日間） ※会期 令和 5(2023)年 3 月 23 日（木） ～6 月 20 日（火）（79 日間）	415 人
	【概要】元宋作品では本名「巖三」の落款の作品から晩年の作品まで幅広い表現を辿る作品を展示。小由女作品では「白の時代」から「色彩の時代」の作品を幅広く展示した。総点数 44 点。		
2	令和 5 年度第 1 期常設展 「奥田元宋と奥田小由女の世界」	常設展のみの期間 6 月 22 日（木）～7 月 4 日（火）（12 日間） 8 月 31 日（木）（1 日間） 《展示期間》 6 月 22 日（木）～8 月 31 日（木）（63 日間）	327 人
	【概要】元宋 1 展示室では戦後から晩年にいたる大作を公開。また元宋 2 展示室では戦前～戦後の花鳥画や書、短歌を展示し、元宋の幅広い作風を紹介した。奥田小由女作品は、風をテーマとした白の時代の作品から、海や七夕をテーマにした季節感を演出する作品などを含めた色彩の時代の代表作を紹介した。総点数 44 点。		
合 計（常設展のみ 27 日間）			742 人

○ 総入館者数比較

年 度	入館者数
令和5年度	16,831人
令和4年度	54,175人
増 減	△37,344人

2 調査研究，収集保管事業

(1) 調査研究

奥田元宋の習作・スケッチ類の分類整理作業を継続中である。また，所蔵作品及び資料のデータベース化を行っている。

(2) 作品収集

奥田元宋・小由女作品についての寄贈・寄託の受け入れを継続している。

(3) 作品活用

奥田元宋・小由女美術館展が岡山シティミュージアムを会場に主催奥田元宋・小由女美術館展岡山実行委員会により開催され，当館より所蔵作品の一括貸出を行った。

場 所	会 期	主 催	入館者数
岡山シティミュージアム	9月22日(金) ～11月12日(日)	奥田元宋・小由女美術館展 岡山実行委員会 (岡山シティミュージアム， 山陽新聞，テレビせとうち)	4,563人

3 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー等活用事業

市内各種文化団体の作品の成果の発表の場として展示会場を提供した。

月 日	内 容	人 数
6月22日(木) ～6月25日(日)	三次市文化連盟創立55周年記念，合併20周年事業「美術展」	422人

(2) ロビーコンサート事業

満月の日に，地元三次市内等で活躍する個人や団体の発表の場としてコンサートを実施した。

	月 日	コンサート出演者	人 数
1	4月6日(木)	中川詩歩 (ソプラノ)・吉川絢子 (ピアノ)	112人
2	5月6日(土)	AYAKA&マリンバフレンズ (マリンバアンサンブル)	188人
3	6月4日(日)	沖田孝司 (ヴィオラ)・沖田千春 (ピアノ)	165人
4	7月3日(月)	淀川萌(ソプラノ)・温井泰世(トランペット)・若松弥々(ピアノ)	92人
5	8月2日(水)	吉村憲二 (ピアノ)	159人
6	8月31日(木)	中井 太一 (ヴァイオリン)・藤井 菜摘 (ピアノ)	188人
合 計			904人

(3) 学校連携事業

ア 鑑賞事業

鑑賞希望の学校と連携し、鑑賞のルールや展示作品についての概要説明など事前学習を行ってから鑑賞を実施し、児童生徒の芸術鑑賞に寄与している。

	対 象	参加校数	参加人数
1	小学生	9校	175人
2	中学生	1校	27人
合 計		10校	202人

イ ワークショップ事業

『リサとガスパールのおもいで展』関連ワークショップとして『リサとガスパール おもいでセル画をつくろう!』を7月30日(日)と8月13日(日)に実施し、合計で19組59人の参加があった。

4 広報、宣伝活動事業

(1) 各企画展に伴う広報内容

	企画展名	広報内容
1	斎藤清展	中国新聞社(紙面広告・作品解説連載等), 中国放送(ラジオCM, ラジオへ電話出演), おのみちエフエム, エフエムふくやま(電話出演), 三次ケーブルビジョン(展覧会紹介等), その他テレビニュース報道内, 雑誌・季刊誌・WEBサイト。
2	菱田春草と画壇の挑戦者たち	中国新聞社(紙面広告・作品解説連載等), 中国放送(ラジオCM・電話出演), おのみちエフエム, エフエムふくやま(電話出演), テレビニュース報道内, 雑誌・季刊誌・WEBサイト。
3	リサとガスパールのおもいで展	中国新聞社(紙面広告・作品解説連載等), 中国放送(ラジオCM, 電話出演等), エフエムふくやま・おのみちエ

	フエム放送（電話出演）、三次ケーブルビジョン、その他テレビニュースでの特集や報道内、雑誌・季刊誌・WEBサイト、さんいんキラリ 2023 春号、開幕に先駆けて7月5日にマスコミ向け内覧会
--	---

(2) その他広報，宣伝活動

ア 情報発信

地域の芸術，文化の振興に寄与することを目的に，美術館や常設展，企画展についての情報提供を積極的に行った。

- ・ 美術館ホームページ，SNS による WEB 上での情報発信

《SNS 登録者数》

Twitter	Facebook	Instagram	YouTube	LINE
1,581	217	1061	118	239

令和6年3月31日現在

- ・ 展覧会に関するラジオ CM，新聞広告等マスコミによる報道，ポスター・チラシの配布。
- ・ エフエムちゅーピーと廿日市エフエムへ理事長が定期的に出演，奥田元宋・小由女美術館と三次市を紹介。

イ 独自の事業・イベント活動

- ① Instagram フォトコンテストを実施し，入賞作品 8 点をホームページにアップし館内掲示を行った。

コンテスト名	実施期間	投稿数
自慢の満月フォト 2023 春	3月7日(火)～5月10日(水)	88点
自慢の満月フォト 2023 秋	9月29日(金)～11月30日(木)	142点

- ② 「4 館周遊割引券」を発行。財団所属の美術館・博物館の連携及び来館者の周遊を促進した。奥田元宋・小由女美術館は，空調設備改修工事による臨時休館になるため，8月31日まで実施。
- ③ 美術館ニュースの発行（令和5(2023)年4月発行：3,000部）

ウ 企業・地域と連携した活動

備北交通株式会社と連携し，直行便（広島バスセンター～美術館の往復）を運行。

5 美術館ボランティア「OGS 夢スタッフ」の活動状況

(1) 総括

美術館ボランティアにより監視等を対応している。また、奥田元宋・小由女作品についての基礎研究及び各企画展についての研修の充実を図りながら、より質の高い常設展並びに企画展事業となるよう努めている。

ア 登録総数 191 人（延べ活動者数 1,287 人）

イ 活動内容

グループ名	人数	活動内容
受付・監視	173 人	展示室前でのチケット確認や展示室内での監視活動を行った。
環境美化	13 人	毎週土曜日朝、館外の植栽等の手入れや敷地内の環境整備を実施。
広報	8 人	会報を奇数月の隔月で発行。
呈茶	9 人	呈茶席を担当。
イベント	11 人	満月ロビーコンサートの司会を担当。
事務補助	12 人	事務補助グループは活動なし。

※ 人数は所属グループに重複があるため登録総数に一致しない。

ウ 先進地視察研修

10月26日(木), 10月29日(日)2回実施 参加者 55名

ウッドワン美術館(廿日市市)と泉美術館(広島市)を視察した。

エ 各企画展内覧会、企画展研修会の実施

企画展名	実施日	摘要	参加人数
菱田春草と画壇の挑戦者たち	4月19日(水)	内覧会	21人
	4月20日(木) 4月23日(日)	研修2回実施	19人
	7月5日(水)	内覧会	6人
リサとガスパールのおもいで展	7月7日(金) 7月8日(土)	研修2回実施	12人

オ 空調改修に伴う休館中の行事

	行事名	実施日	会場・訪問先等	参加人数
1	レストランでの交流会	9月11日(月)	レストラン洋食工房	24人

2	屋上庭園池の清掃	10月7日(土)	奥田元宋・小由女美術館	11人
3	近隣美術館めぐり	11月28日(火)	美術館あーとあい・きさ 三良坂平和美術館	11人
4	日本画体験研修	令和6(2024)年 2月22日(木)	酒屋コミュニティセンター	18人
※ 5	マナー講師による 接客研修	令和6(2024)年 4月2日(火)	みよしまちづくりセンター	40人

※は、令和6年度の実施になるが令和5年度で計画

【収益事業】

1 美術関連品提供事業（ショップ事業）

(1) 常設ショップ

元宋・小由女作品のオリジナルグッズを中心に販売を実施。

また、岡山シティミュージアムで開催された「奥田元宋・小由女美術館展」で商品の委託販売を行った。

商品売上額 2,493,675 円

(内図録販売 460,900 円/岡山会場商品売上 1,087,230 円)

(2) 企画ショップ

各企画展において関連グッズや関連書籍の販売を実施。

(販売は委託販売で手数料収入とする。)

企画展名	売上額	手数料収入額
斎藤清展	860,490 円	146,596 円
菱田春草と画壇の挑戦者たち展	1,363,600 円	211,146 円
リサとガスパールおもいで展	12,414,018 円	2,382,667 円
合計	14,638,108 円	2,740,409 円

2 レストラン賃貸借事業

年間を通じて安定したレストラン経営ができるようサポートし、賃貸借事業を実施した。

月	利用者数	企画展名
4	1,099 人	斎藤清展 4月1日(土)～ 菱田春草と画壇の挑戦者たち展 4月20日(木)～
5	1,237 人	菱田春草と画壇の挑戦者たち展
6	1,012 人	菱田春草と画壇の挑戦者たち展 ～6月13日(火)

7	1,023人	リサとガスパールおもいで展 7月6日(木)～
8	1,428人	リサとガスパールおもいで展 ～8月29日(火)
9	913人	臨時休館
10	996人	
11	942人	
12	736人	
1	333人	
2	679人	
3	1,009人	
合計	11,407人	

4月～3月までのレストラン利用客数 11,407人 (34.7人/日)

3 茶室運営事業

呈茶のサービスを通して、来館者の方々に「奥田元宋・小由女の世界」をより堪能していただくことを目的として実施している。茶室「待月庵」にて呈茶を行うボランティア「茶室協議会」の協力で、土日祝日を中心に呈茶サービスを実施した。

《呈茶実施状況》

開催日数	15日
活動ボランティア数	74人
利用客数	401人
協力登録団体	5団体(裏千家, 表千家, 上田宗箇流, 松莚流, OGS 夢スタッフ)

【その他事業】(相互扶助事業)

1 美術館サポートメンバー向け事業

奥田元宋・小由女美術館の魅力企画展や広報活動を通じて市内外に発信し、サポートメンバーの加入促進を図った。

○ サポートメンバー加入状況

一般 88人, 特別 192人, 法人 37団体 合計 317会員

2 空調改修工事に伴う休館中の行事

ア 職員による外壁及び玄関周りの清掃

イ 職員及びボランティアの協力のもと屋上庭園の整備及び池の清掃

ウ 美術館ボランティアを対象とした研修会の開催

	研修講座名	開催日時	場所	参加人数
1	美術館ボランティアとは	11月23日(木祝) 14:00～15:30	三次市福祉保健センター	20人
2	日本画家・奥田元宋の世界	12月17日(日) 14:00～15:30	三次市福祉保健センター	23人

3	人形作家・奥田小由女の世界	令和 6(2024)年 1月 28日(日) 14:00~15:30	みよしまちづくりセンター	31人
---	---------------	---	--------------	-----

【法人関係】

令和 5 (2023) 年度評議員会及び理事会の開催

評議員会，理事会を次のとおり開催した。

	日 時	会 議 名	議 事 等
1	令和 5(2023)年 6月 6日(火) 14:00~	令和 5 (2023) 年度 第 1 回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 令和 4 (2022) 年度 事業報告及び決算報告 ◆ 令和 5 (2023) 年度 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館 美術館あーとあい・きさの事業計画変更について ◆ 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館理事の選任について ◆ 令和 5 (2023) 年度 第 1 回定時評議員会の招集について
2	令和 5(2023)年 6月 22日(木) 10:00~	令和 5 (2023) 年度 第 1 回定時評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館評議員会議長の選出について ◆ 令和 4 (2022) 年度 事業報告及び決算報告 ◆ 令和 5 (2023) 年度 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館 美術館あーとあい・きさの事業計画変更について ◆ 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館理事の選任について
3	令和 5(2023)年 6月 22日(木) 14:00~	令和 5 (2023) 年度 第 1 回臨時理事会	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館理事長，副理事長の選任について
4	令和 5(2023)年 11月 15日(水) 10:00~	令和 5 (2023) 年度 第 2 回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館 令和 5 (2023) 年度 前期事業報告及び前期収支報告について ◆ 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館理事長等の職務執行状況について ◆ はらみちを美術館の運営業務に係る委託契約の締結について ◆ 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館 令和 6 (2024) 年度 企画展(案)について
5	令和 6(2024)年 1月 24日(水) 13:30~	令和 5 (2023) 年度 第 2 回臨時理事会	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館 寄附金の募集等について

6	令和 6(2024)年 3月 5日(火) 14:00～	令和 5(2023)年度 第 3 回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館 令和 6(2024)年度事業計画(案)及び収 支予算(案)について ◆ 令和 6(2024)年度 資金調達及び設備 投資の見込み(案)について ◆ 基本財産への繰入について ◆ 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館 美術品等購入資金に関する規程の一部 を改正する規程(案)について ◆ 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館 再雇用規程の一部改正について ◆ 令和 5(2023)年度公益財団法人奥田元 宋・小由女美術館 第 2 回定時評議員 会の開催について ◆ 広島県による公益財団法人奥田元宋・ 小由女美術館 運営組織及び事業活動 の状況に関する立入検査について
7	令和 6(2024)年 3月 21日(木) 10:00～	令和 5(2023)年度 第 2 回定時評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館 令和 6(2024)年度事業計画(案)及び収 支予算(案)について ◆ 令和 6(2024)年度 資金調達及び設備 投資の見込み(案)について ◆ 基本財産への繰入について ◆ 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館 美術品等購入資金に関する規程の一部 を改正する規程(案)について ◆ 公益財団法人奥田元宋・小由女美術館 再雇用規程の一部改正について ◆ 寄附募集について ◆ 広島県による公益財団法人奥田元宋・ 小由女美術館 運営組織及び事業活動 の状況に関する立入検査について

令和5(2023)年度 三良坂平和美術館 事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興，並びに地域文化の発展を図ることをめざし，次の事業を行った。

1 展示事業

(1) 常設展

当館所蔵の柿手春三作品を活用し展示した。

名称	会 期 (開館日数)	入館者数
1 I期 木のある風景	4月1日(土)～6月4日(火) (56日間)	6,478人
【概要】 柿手が描いた風景スケッチ。		
2 II期 自由な線	6月10日(土)～7月9日(日) (26日間)	142人
【概要】 柿手が自由に描いた線の油彩画作品を展示。		
3 III期 平和を奏でる	7月15日(土)～9月3日(日) (45日間)	625人
【概要】 柿手が生涯求めた平和をテーマにした作品。		
4 IV期 色のパッチワーク	9月16日(土)～11月12日(日) (52日間)	1,847人
【概要】 柿手の色彩豊かな作品を展示。		
5 V期 ふるさと	11月23日(木)～12月24日(日) (28日間)	737人
【概要】 柿手のふるさとに思いを寄せた スケッチ，水彩，油彩を展示。		
6 VI期 ザ・カキテ	令和6(2024)年1月6日(土) ～3月24日(日) (66日間)	902人
【概要】 柿手がテーマにしてきた「戦争と平和」，そして「環境保全」 これらにフォーカスした油彩，水彩を展示。		
合 計(275日間)		10,731人

(2) 企画展

	名 称	会 期 (開館日数)	入館者数
1	木のおもちゃでできること	4月1日(土)～6月4日(日) (56日間)	6,478人
	【概要】体験型展示 第二弾として「木のおもちゃ」を使って赤ちゃんからお年寄りまで楽しめる場を提供した。		
2	みらさかコレクション	6月10日(土)～7月9日(日) (26日間)	142人
	【概要】三良坂平和美術館の収蔵作品を展示した。		
3	第11回 平和の灯ろうコンテスト作品展	7月15日(土)～7月30日(日) (15日間)	284人
	【概要】広く平和祈念の機運を高めることを目的に「第11回平和の灯ろうコンテスト」の応募作品をすべて展示した。		
4	JOTOKU2023 増田常德展	8月5日(土)～9月3日(土) (26日間)	331人
	【概要】長崎出身で、平和をテーマに創作活動を行う洋画家、増田常德氏の作品を紹介した。ヒロシマ、ナガサキ、アウシュビッツ等、反戦と平和への祈りを込めた油彩画を通して、今もなお戦場にあるウクライナの人々へ思いをはせた。		
5	門井満枝アメリカンアンティーク キルトの世界展	9月16日(土)～11月12日(日) (52日間)	1,805人
	【概要】廿日市市在住のキルト作家、門井満枝さんによるアメリカンキルトの作品を紹介する。彼女は、また、古いアメリカンキルトのコレクターでもあり、それらの作品の修復、保存も手掛けている。染色技術等、様々な情報が詰まっている。それらをひもときながら「古き良きアメリカ」を体験していただいた。		
6	県北アートシーン 33rd	11月23日(木)～12月24日(日) (28日間)	637人
	【概要】絵画、立体、写真、陶芸等、ジャンルの幅を広げ展示し、県北在住ならびに県北に所縁のある、現在活躍中の作家の優れた作品を広く地域の人々に紹介した。		
7	みらさかコレクション ーザ・カキテー	広島：令和6(2024)年1月6日(土) ～2月8日(木) (30日間) 東京：令和6(2024)年3月2日(土) ～3月24日(日) (20日間)	241人 136人
	【概要】油彩、水彩、パステル、色紙と、様々な画法で描かれた柿手春三の作品を紹介した。		
合 計(253日間)			10,054人

※主催はすべて三良坂平和美術館

入館者数 常設展 (275日間) 10,731人

企画展 (253日間) : 10,054人

(貸館入館者総数 622人 総入館者数 11,353人)

2 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー活用事業

企画展と企画展の間の期間を利用して、中学生・町内文化祭作品展等の展示会場として利用された。

	名 称	会 期 (開館日数)	入館者数
1	みらさか町民文化祭	11月15日(水)～11月19日(日) (5日間)	100人
	【概要】三良坂町民の作品展示(絵画, 手芸, 写真, 書, 小・中学生の作品)		
2	山下徳三作品展	令和6(2024)年2月10日(土) ～2月25日(日)(15日間)	522人
	【概要】山下徳三氏の水彩画作品の展示		

(2) 地域連携事業

ア 鑑賞事業

展示作品の鑑賞を通して、児童生徒・園児や地域の方々に美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらった。

	名 称	期 日	参加者数
1	木のおもちゃでできること	4月28日(金) 5月18日(木) 19日(金) 24日(水) 25日(木)	みらさか学園 1年, 3年, 4年, 5年 104人 神石インターナショナルスクール 1年, 2年, 3年 21人
2	平和の灯ろうコンテスト作品展	7月15日(土) ～7月30日(日)	三次相扶園 52人 みいちゃん家 33人 ゆうしゃいん三次 10人 デイサービスたすく 15人 川地中学校文芸部 9人 のぞみ苑 15人 みら屋 4人
合 計			263人

イ ワークショップ事業

「木のおもちゃでできること」展

関連ワークショップとして次の4事業を実施し、673人が参加した。

	名 称	期 日	講 師	参加者数
1	くむんだー ワークショップ	4月8日(土), 9日(日), 22日(土), 23日(日), 30日(日) 5月4日(木祝), 5日(金祝), 6日(土), 7日(日), 14日(日), 20日(土), 21日(日), 27日(土),	にいみ木のおもちゃの会	500人

		28日(日) 6月3日(土), 4日(日)		
2	木のおにぎり ・ペンダントづくり	4月2日(日), 9日(日), 16日(日), 23日(日), 29日(土), 30日(日) 5月28日(日)	一場木工所	142人
3	タケ1-レース	4月29日(土)	ひろしま森のおもちゃ協会	16人
4	うさぎの椅子	5月21日(日)	奥本巖	15人
合 計				673人

ウ 参加型平和への取り組み事業

(三次市地域振興部 定住対策・暮らし支援課 共生社会推進係と共催)

【第11回 平和の灯ろうコンテスト】

折鶴を使って灯籠作りなどのワークショップへの参加を市内の子どもからお年寄りまで幅広い層の方に呼びかけた。完成作品は館内に展示するなど、ワークショップの取り組みを通して美術館に対する関心をより深めてもらう取組を行った。

	名 称	期 日			
	第11回平和の灯ろうコンテスト	締め切り 6月23日			
1	<p>【概要】広島市平和記念公園へ手向けられた「折り鶴」を「ちぎり絵」などに活用することで、広く平和祈念の機運を高めることを目的に「平和の灯ろうコンテスト」を（三次市地域振興課定住対策・暮らし支援課共生社会推進係と協力して）開催した。</p> <p>◎鶴の解体は三次市内の介護施設にお願いした。</p> <p>◎応募について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人でも団体でも応募可。 ・お渡しする灯ろう用紙と折り鶴を使用すること。 ・作品は平和に関連性を感じさせるものとする。 				
2	◎賞の結果について				
		幼児の部	小学生の部	中学生の部	一般の部
大賞	こうぬ保育所 きりん組	君田小学校 6年生	川地中学校 文芸部3年生	岡崎医院サービス センター「たすく」	
優秀賞	三良坂保育所 すみれ組	川地小学校 5年生	君田中学校 3年生	デイサービスセンター 「みいちゃん家」	
特別賞	粟屋保育所 青組	十日市小学校 1年い組	三良坂中学校 音楽部3年生	小規模多機能三良坂	
<p>応募数 (個人・団体合わせて) 373点</p> <p>幼児の部 51点 小学生の部 151点 中学生の部 56点</p> <p>一般の部 115点</p>					

令和5(2023)年度 美術館あーとあい・きさ及び吉舎歴史民俗資料館 事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興，並びに地域文化の発展を図ることをめざし，次の事業を行った。

I 美術館あーとあい・きさ事業

1 展示事業

奥田元宋・小由女夫妻の出身地にある美術館として，地元の作家及び近年活躍の目覚ましい県内作家等の作品や，長年継続して創作活動している団体等の作品を県北の地で広く紹介し，地域の芸術・文化の振興に寄与することを目的に開催した。

(1) 常設展の開催

	展 示 名	会 期 (開館日数)	入館者数 (常設展のみ)
1	常 設 展	4月1日～令和6(2024)年3月31日 (314日間)	334人
	【概要】当館所蔵の奥田元宋・小由女作品及び資料を，両氏の出身地にある美術館として通年展示した。		

(2) 企画展の開催

	名 称	会 期 (開館日数)	入館者数
1	鐵の造形 木本一之展	4月1日(土)～4月9日(火) (8日間) ※全会期 令和5(2023)年2月26日(日) ～4月9日(火) (37日間)	215人
	【概要】20代後半にヨーロッパを巡り習得した「鍛鉄」の技法を用いた木本氏独自の作風の金属造形作品47点を一堂に展示し紹介した。		
2	加納由美子七宝展 ー響きあうときー	4月16日(日)～6月4日(日) (43日間)	574人
	【概要】自然と人との共存，過去から未来へと受け継がれて行く生命の輝きと尊さを作家の宇宙観で造形し表現した七宝作品33点を展示し紹介した。		
3	第17回 広島県日本画協会作品展 ーそれぞれの春夏秋冬ー	6月15日(木)～7月23日(日) (34日間)	304人
	【概要】17回目となる広島県日本画協会会員の作品36点を展示し紹介した。今年度は大型作品の出展が多く，迫力のある展示となった。		

4	比治山大学 短期大学部美術科 マンガ・キャラクターコース作品展	7月30日(日)～9月10日(火) (37日間)	199人
	【概要】学生の作品を中心にこれまでに制作された多種多様な作品を一堂に展示し、コース開設10周年を総括する展示とした。		
5	岡孝博 RAIL WORK 2015-2023	9月17日(日)～11月5日(日) (45日間)	306人
	【概要】尾道市在住の造形作家岡孝博氏が2015年に始めたレールをモチーフとした作品を展示し、その直進性や永遠性など特性を十分に生かした造形作品の魅力を紹介している。		
6	第19回 広島日展会総合小品展	11月12日(日)～12月16日(土) (30日間)	360人
	【概要】日本最大の公募展「日展」を舞台に活躍する広島日展会会員の作品を一堂に展示し、書・絵画・彫刻・工芸美術など幅広いジャンルの芸術を一度に鑑賞できる展示とした。		
7	吉舎町内 園児・児童・生徒作品展	令和6(2024)年1月7日(日) ～2月25日(日) (45日間)	277人
	【概要】吉舎町内の園児及び小中高校生が授業で制作した作品を①園児・小学生②中学生・高校生の2つのカテゴリー別に期間を設けて展示し、地域の子供たちの芸術への関心の向上を図る展示とした。		
8	第11回 新県美展 (第75回広島県美術展)巡回展	令和6(2024)年3月6日(水) ～3月10日(日) (5日間)	175人
	【概要】広島県主催の公募展。三次市教委と連携し入賞作品や地元作家の入選作品を展示した。		
9	杉原緑子・石原詠子二人展 －想いを形に－	令和6(2024)年3月19日(火) ～3月31日(日) (12日間) ※全会期 令和6(2024)年3月19日(火) ～5月19日(日) (54日間)	115人
	【概要】人間の内面にある苦悩や慈愛などの想いを二人の作家がインスタレーションなどそれぞれの手法で表現した絵画等32点を展示し紹介した。		
合 計			2,525人

※常設展 (314日間) 334人 企画展 (258日間) 2,525人

合計 314日間 2,859人

2 教育普及事業

(1) 地域連携事業

ア 鑑賞事業

児童生徒の鑑賞力と発表力を養いながら美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらうこと、また地域の方々にも鑑賞を通して美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらうことを目的に実施した。

【団体鑑賞受入実績】

	事業名	期日	入館者数
1	美術作品鑑賞と資料館展示見学 (いきいきサロン花水木)	5月18日(木)	13人
2	美術作品鑑賞と資料館展示見学 (医療法人新和会 精神科デイケアあすなろ)	9月2日(土)	7人
3	美術作品鑑賞と資料館展示見学 (社会福祉法人ともえ会特別養護老人ホームこじか荘)	9月24日(日)	5人
4	美術作品鑑賞と資料館展示見学 (三原ふれあい旅行会)	11月4日(土)	27人
5	おもてなしプラン事業 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学 (日彰館高校・広島大学留学生)	11月11日(土)	75人
6	企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学 (吉舎保育所 黄組・緑組)	令和6(2024)年 1月12日(金)	33人
7	生活単元学習 展示作品及び資料の鑑賞と展示方法の学習 (吉舎小学校)	1月26日(金)	3人
8	企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学 (吉舎保育所 赤組・桃組)	1月26日(金)	21人
9	地域学習(フィールドワーク) (吉舎中学校)	3月8日(金)	19人
合 計			203人

イ ワークショップ事業

	事業名	期日	講師	参加者数
1	～母の日に七宝の花束を贈ろう～ 七宝の小物づくりワークショップ	5月13日(土)	加納由美子	16人
	【概要】加納由美子氏の指導により七宝のブローチづくりを行った。 当初10人の定員で募集したが問合せが多く16人となった。			
2	ワークショップ 三次のキャラを作ろう!	7月30日(日)	比治山大学 美術学科教師・学生	8人
	【概要】小学生以下の児童を対象に参加者を募集し、三次の新たなキャラづくりに取り組んだ。出来上がった作品は展示会場に掲出した。			
合 計				24人

Ⅱ 吉舎歴史民俗資料館事業

1 展示事業

三玉大塚古墳出土品, 南天山城跡出土品, 和智氏関係資料及び昔の農家(囲炉裏), 民具・農具の展示を通して, 郷土の歴史・文化に対する理解や親しみを深めてもらいながら, 地域文化の向上に寄与することを目的に開催した。

(1) 常設展の開催

吉舎町の豊かな歴史文化と伝統を背景とした貴重な遺物や資料等を通年展示した。(常設展のみの期間の入館者：75人)

(2) 企画展の開催

	名 称	会 期	入館者数
1	受け継がれる伝統の舞 —茂田神楽団の輝き—	5月2日(火)～8月20日(日) (97日間)	85人
	【概要】 茂田神楽団の活動を通して, 現在の活動や使用されている衣装・小道具を展示し, 長年にわたり継承されてきた魅力に迫る展示とした。		
2	根気 のんき 元気なわたしたち —社会福祉法人ともえ会 こじか荘の作品展—	8月30日(水)～9月24日(日) (24日間)	74人
	【概要】 特別養護老人ホームこじか荘の利用者が長年培ってきた知識・技能や趣味を生かして制作した作品を展示し紹介した。		
3	自然に抱かれて —故郷安田の風景—	10月3日(火)～12月20日(水) (69日間)	137人
	【概要】 吉舎町の安田地区自治振興会の協力のもと, 地域で生まれた独特の文化や風土, そこで育まれた希少生物及び植物の姿を展示し過疎高齢化が進む地域が誇る伝統や暮らしを紹介した。		
4	児童生徒の俳句短歌作品展	1月7日(日)～2月25日(日) (45日間)	63人
	【概要】 三次市文化連盟主催の「俳句・短歌大会」に投稿された市内の小中高校生の作品の中から入賞した101点を展示し, 子どもの頃から日々の暮らしの中で文芸に親しむ態度を涵養する一助とした。		
合 計 (235日間)			359人

※入館者数は歴史民俗資料館のみの入館者数 (美術館と併せての入館者は除いた数字)

2 教育普及事業

(1) 地域連携事業

ア 鑑賞事業

児童生徒や地域の方々に, 地域の歴史や昔の農家の日常生活(囲炉裏等)・民具・農具等に対する理解や親しみを深めてもらうことを目的に実施した。(美術館団体鑑賞との重複 9件)

【団体鑑賞受入実績】

	名 称	期 日	入館者数
1	美術作品鑑賞と資料館展示見学 (いきいきサロン花水木)	5月18日(木)	13人
2	総合学習及び社会科の歴史学習 (八幡小学校6年生)	6月29日(木)	9人
3	美術作品鑑賞と資料館展示見学 (社会福祉法人あらくさ)	7月21日(金)	5人
4	美術作品鑑賞と資料館展示見学 (医療法人新和会 精神科デイケアあすなろ)	9月2日(土)	7人
5	美術作品鑑賞と資料館展示見学 (社会福祉法人ともえ会 特別養護老人ホームこじか荘)	9月24日(日)	5人
6	美術作品鑑賞と資料館展示見学 (三原ふれあい旅行会)	11月4日(土)	27人
7	おもてなしプラン事業 企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学 (日彰館高校・広島大学留学生)	11月11日(土)	75人
8	企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学 (吉舎保育所 黄組・緑組)	令和6(2024)年 1月12日(金)	33人
9	生活単元学習 展示作品及び資料の鑑賞と展示方法の学習 (吉舎小学校)	1月26日(金)	3人
10	企画展展示作品鑑賞と資料館展示見学 (吉舎保育所 赤組・桃組)	1月26日(金)	21人
11	地域学習(フィールドワーク) (吉舎中学校)	3月8日(金)	19人
合 計			217人

イ ワークショップ事業

	事 業 名	期日	講 師	参加者数
1	神楽衣装着付け体験	7月23日(日)	茂田神楽団団員	15人
	【概要】茂田神楽団の協力により、神楽の伝統衣装を実際に身に纏いその重さや手触りを実感する機会を設けた。参加申込み者の多くは児童だったが、当日の会場で付き添いの保護者からも試着してみたいとの申し出があり、親子で伝統文化の一端を楽しく学べる機会となった。			
合 計				15人

※美術館あーとあい・きさ (314日間) 2,859人

吉舎歴史民俗資料館 (235日間) 359人

合計 314日間 3,218人